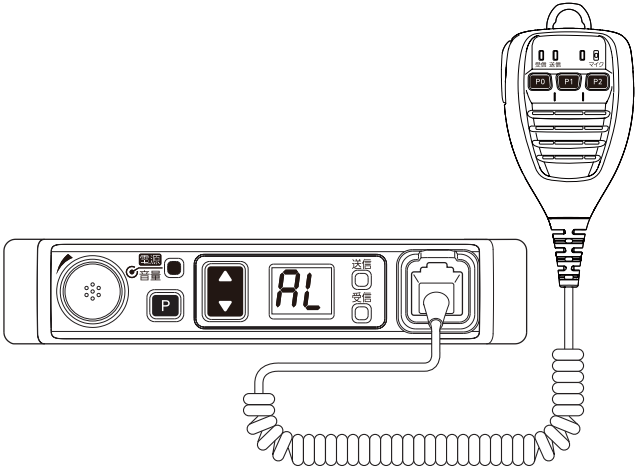
ICOM

取扱説明書

デジタル無線電話装置

D-TAXI15



この無線機を使用するためには、総務省の無線局の免許が必要です。
免許を受けずに使用すると、電波法第110条の規定により処罰されます。
この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、工事設計認証を受けたデジタル無線電話装置です。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

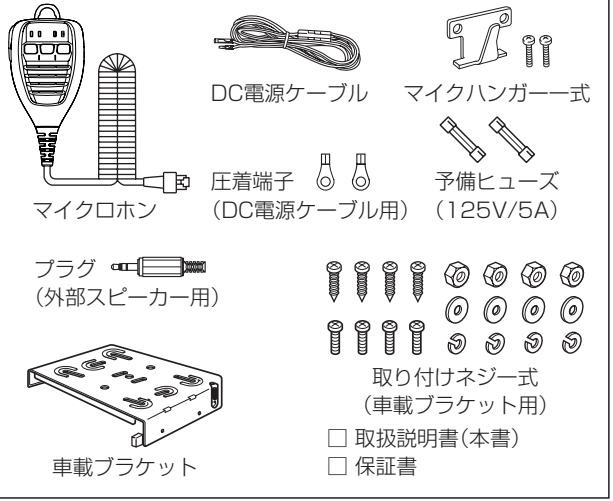
放熱について

本製品は長時間運用すると、後面部の温度が高くなります。
子供や周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。
また、本製品はできるだけ風通しのよい、放熱の妨げにならない場所に設置してください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
本書の著作権およびハードウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

付属品について



取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。
本書では、工場出荷時の状態でご使用いただける機能を中心に、一般的なご使用を想定した内容を掲載していますので、設定されている機能について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

本製品の概要について

◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
◎個別呼び出し機能★を搭載していますので、運用形態に合わせて2種類(全体/個別)の呼び出しができます。
◎GPSユニット(UX-230:別売品)★と組み合わせることで、GPSの位置情報を送信できます。
◎卓上電源装置(別売品:PS-230A)と組み合わせることで、簡易基地局が構築できます。

★各種機能の詳細な設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

電波法上のご注意

◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
ご自分で分解や改造をしないでください。
◎免許状に記載されている範囲内で通信してください。
◎他局の通信の妨害、および通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
◎免許の有効期限は、免許を取得した日から5年間です。
再免許の申請は、免許の切れる6ヵ月前から3ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
◎使用できるのは、日本国内に限られています。

自動車運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
◎本製品をハイブリッドカーでご使用になる場合、ハイブリッドカーに搭載されているインバーターからのノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

音声圧縮(符号化)方式について

本製品は、米国DVS社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Evcitation)方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form U.S. Patent Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

はじめに

取り扱い上のご注意

◎テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれた場所に設置してください。

◎直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。
移動局として車内に設置する場合、炎天下では、温度が極端に上昇し、本機に悪影響を与えます。
また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。

◎車載運用では、バッテリー保護のためにも、一日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。

◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

◎本製品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎磁気カードを無線機やマイクロホンに近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。

車載時の設置について

◎自動車の板金部に沿ってDC電源ケーブルを通す場合、保護用テープを巻くことをおすすめします。
DC電源ケーブルと板金部がこすれると、外被が破れ、ショートの原因となることがあります。

◎本製品を自動車に取り付けたあと、本製品の電源を入れた状態で、自動車のブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。

◎アンテナの同軸ケーブルからは電波がふく射されるので、自動車のコンピューター(コントロールユニット)、およびハーネスから遠ざけ、ハーネスと交差する場合は、ハーネスと直角になるように取り付けてください。

◎自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼさないようにするため、無線機、アンテナ、同軸ケーブルなどは、次のような電波障害留意機器より20cm以上はなして取り付けてください。

●エンジン関係 :ECI/燃料噴射装置/エンジンコントロールユニット(ガソリン車)、グローコントロールユニット(ディーゼル車)

●トランスミッション関係
:電子制御式変速機/4WDコントロールユニット

●その他 :ECS/EPS/ABS/ETACS/フルオートエアコン/オートヒーターコントロールユニット/Gセンサー

もくじ

はじめに ―――― i

放熱について …… i
登録商標/著作権について …… i
付属品について …… i
取扱説明書の内容について …… i
本製品の概要について …… ii
電波法上のご注意 …… ii
自動車運転時のご注意 …… ii
音声圧縮(符号化)方式について …… ii
取り扱い上のご注意 …… iii
車載時の設置について …… iii

安全上のご注意 ―――― v

1.各部の名称と機能 ―――― 1

■ 無線機本体 …… 1
■ マイクロホン …… 2

2.交信のしかた ―――― 3

1.電源を入れる …… 3
2.音量を調整する …… 3
3.チャンネル番号の選択 …… 4
4.相手局番号の選択 …… 5
5.呼び出しをする …… 6
6.呼び出しを受ける …… 6
7.交信する …… 7
■ 交信時のアドバイス …… 7
1. マイクロホンの使いかた …… 7
2.個別呼び出しについて …… 7
3.相手局から応答がないときは …… 7
4.交信する場所について …… 7

3.録音機能の使いかた ―――― 8

■ 録音機能について …… 8

4.保守について ―――― 9

■ ヒューズの交換について …… 9
■ マイクハンガーの取り付けかた …… 9
■ 日常のお手入れと点検について …… 9
■ 故障かな？と思ったら …… 10
■ アフターサービスについて …… 11

5.別売品について ―――― 12

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、
必ずお読みください。

◎ **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
◎ **次の『⚠危険』『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。**
◎ **お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。**

⚠危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

【免責事項について】
お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用方法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

引火性ガスの発生する場所では、絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

⚠警告

◎ **民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。**
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。
運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
◎ **電子機器の近く（特に医療機器のある病院内）では絶対に使用しないでください。**
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。

⚠警告（つづき）

◎ **マイクロホン（付属品）のケーブルを持って、マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください。**
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。

◎ **製品の分解や改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **指定以外の電源や電圧を使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **DC電源ケーブルを接続するときは、⊕（プラス）と⊖（マイナス）の極性を間違えないように十分注意してください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **DC電源ケーブルや接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱しないでください。**
ショートして発火の原因になります。

◎ **接続がゆるかったり、DC電源ケーブルや接続ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。**
ショートして発火の原因になります。

◎ **長時間使用しないときは、安全のため本製品に接続する電源を取りはずしてください。**
発熱、火災の原因になります。

◎ **雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、本製品のDC電源ケーブル、卓上電源装置（別売品）の電源ケーブルには、絶対に触れないでください。**
感電の原因になります。

◎ **本製品のDC電源ケーブルや卓上電源装置（別売品）の電源ケーブルにホコリが付着した状態で使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **本製品のDC電源ケーブル、卓上電源装置（別売品）の電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **指定以外のヒューズを使用しないでください。**
火災、故障の原因になります。

◎ **指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。

◎ **線材のような金属物を入れたり、水につけたりしないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **水などでぬれやすい場所（加湿器のそばなど）に設置しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

安全上のご注意

⚠警告（つづき）

◎ **万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠注意

◎ **インバーター内蔵の電子機器やLED照明器具の周辺で使用しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎ **容易に人が触れることができる場所にアンテナを設置しないでください。**
送信中のアンテナは高電圧になることがあるため、感電、けが、故障の原因になることがあります。

◎ **指定以外の別売品を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎ **テレビやラジオの近くで送信しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎ **ぬれた手で本製品のDC電源ケーブルや卓上電源装置（別売品）の電源ケーブル、または本製品に触れないでください。**
感電の原因になることがあります。

◎ **本製品のマイクコネクター部分に金属片やゴミを付着させないでください。**
ショートして発火の原因になることがあります。

◎ **直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所に設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎ **−20℃〜+60℃以外の環境では使用しないでください。**
温度範囲外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

⚠注意（つづき）

◎ **長時間使用すると、後面部の温度が高くなりますので、後面部を触れないでください。**
また、周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。
やけどすることがあります。

◎ **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。

◎ **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。

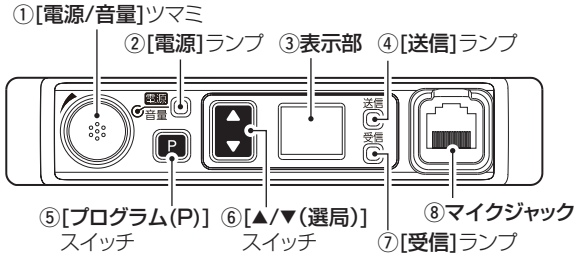
◎ **本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。

◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

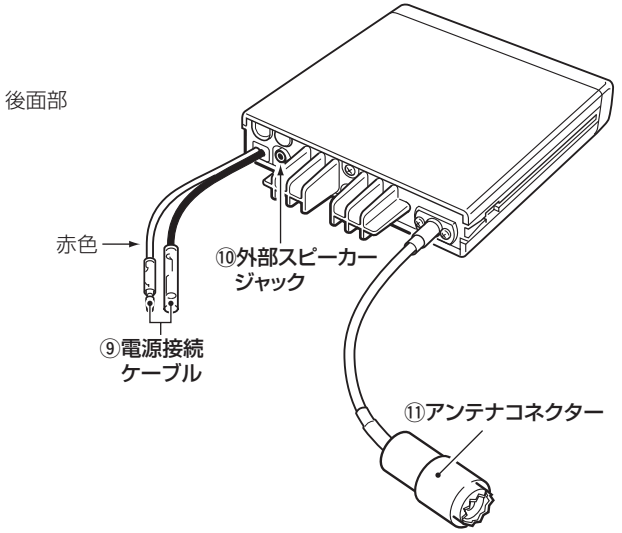
1 各部の名称と機能

■ 無線機本体

前面部



後面部



① **[電源/音量]**ツマミ(☞P3)
長く押すと、本製品の電源を「ON」/「OFF」します。
本製品の音量(0～32)は、右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

② **[電源]**ランプ(☞P3)
電源が入っているあいだは青色に点灯します。

③表示部
本製品の選択チャンネルなどを表示します。

④ **[送信]**ランプ(☞P6)
電波を送信しているあいだは赤色に点灯します。

⑤ **[プログラム]**スイッチ(☞P4)
任意の機能をお買い上げの販売店にて設定しています。

⑥ **[▲/▼(選局)]**スイッチ(☞P4)
チャンネル(CH)番号、または個別呼び出しする相手局(個別)番号を切り替えます。

⑦ **[受信]**ランプ(☞P6)
電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。

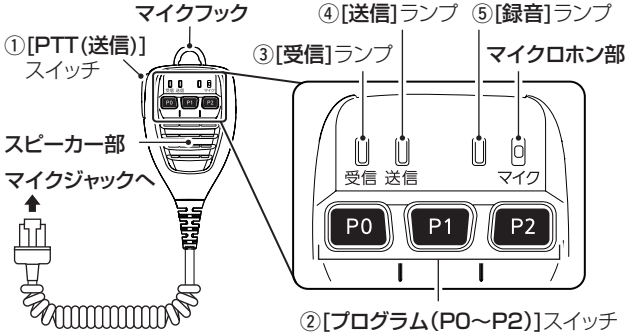
⑧マイクジャック
付属のマイクロホンを接続します。
※接続するときは、**「カチッ」**と音が鳴るまで差し込んでください。

⑨電源接続ケーブル
12V/24V系のバッテリーと接続します。
また、基地局として使用するときは、卓上電源装置(別売品:PS-230A)と接続します。

⑩外部スピーカージャック(3.5φ)
外部スピーカー(別売品:SP-30)、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)のスピーカーを接続します。
※インピーダンスは4Ωで、マイクロホンを接続しない状態でも動作します。

⑪アンテナコネクター
アンテナを接続するコネクター(M型)です。
インピーダンス50Ωのアンテナを接続します。

■ マイクロホン



① **[PTT(送信)]**スイッチ(☞P6、P7)
押すと送信、はなすと受信に切り替えます。

② **[プログラム(P0~P2)]**スイッチ
任意の機能をお買い上げの販売店にて設定しています。

③ **[受信]**ランプ(☞P6)
電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。

④ **[送信]**ランプ(☞P6)
電波を送信しているあいだは赤色に点灯します。

⑤ **[録音]**ランプ(☞P8)
下表の状態にしたがって **[録音]**ランプが橙色で点灯します。

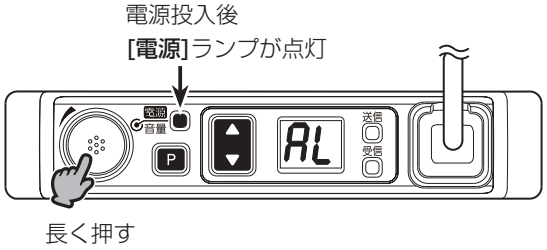
● 点灯時(橙色)の状態	○ 消灯時の状態
録音中 (自局宛の呼び出し受信中)	電源起動時
自局宛の呼び出し受信後	録音データ消去後
再生中	

2 交信のしかた

1 電源を入れる

[電源/音量]ツマミを長く押します。

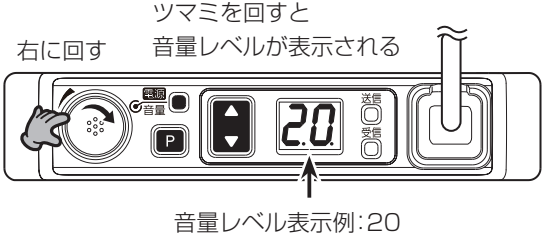
【電源を入れたときの表示】
[電源]ランプが点灯し、表示部に運用番号を表示します。



2 音量を調整する

[電源/音量]ツマミを右に回します。
● 調整範囲：0～32（音量レベル表示例：20）
音量は、右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

モニター機能が設定されている場合、何も音が出ていない状態での音量調整は、設定したスイッチを押して「ザー」という雑音を出し、この雑音を聞いて調整します。
調整後は、設定したスイッチをはなします。



《ご注意》操作音（ビープ音）が音量と連動するように設定されている場合、音量を最小にすると、ビープ音や受信した音声は聞こえません。

3 チャンネル番号の選択

チャンネル(CH)番号を選択します。

【すでにチャンネル番号が表示されている場合】

交信するすべての局は、同じチャンネル(CH)番号に設定してください。

[▲/▼(選局)]スイッチを押します。

● チャンネル番号が切り替わります。

[▲/▼(選局)]スイッチを押すと
チャンネル番号が切り替わる

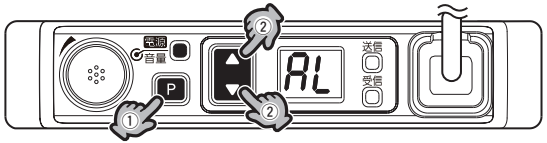
押す

チャンネル表示例:c1

[▲/▼]を押す

チャンネル変更例:c8

【相手局番号(「AL」または数字)が表示されている場合】



①CH個別全体切替を設定している場合は、設定したスイッチを押して、チャンネル(CH)番号表示に切り替えます。

※押すごとに、チャンネル番号表示と相手局(全体/個別)表示が切り替わります。

※設定は本体のスイッチ以外に、マイクロホンにも設定できます。

相手局番号の表示

全体表示

個別表示

CH 個別全体切替に設定したスイッチを押す

②**[▲/▼(選局)]**スイッチを押します。

●チャンネル番号が切り替わります。(例:c9)

チャンネル番号の表示

[▲/▼]を押す

4 相手局番号の選択

個別呼び出し機能が設定されている場合、個別呼び出し機能で相手局を呼び出すには、チャンネル(CH)番号と相手局(全体/個別)番号(☞P4)を選択します。
相手局を呼び出すには、相手局番号を下記の2種類(全体/個別)の呼び出しかたから選択します。

◎**全体呼び出し** →→→→→→→→
一斉に全局を呼び出す。

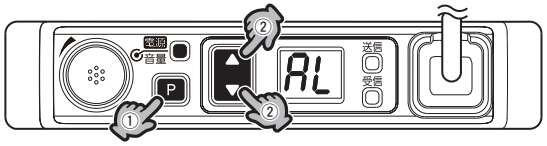
全体表示

◎**個別呼び出し(00~99)**→→→→
「00」~「99」のうち選択された1局(自局番号を除く)を呼び出す。

個別番号表示例：02

①呼び出しかた(全体/個別)を選択する
CH個別全体切替を設定している場合は、設定したスイッチを押して、相手局(全体/個別)表示に切り替えます。
- 押すごとに、チャンネル番号表示と相手局(全体/個別)表示が切り替わります。

※設定は本体のスイッチ以外に、マイクロホンにも設定できます。



②相手局(全体/個別)番号を選択する
[▲/▼(選局)]スイッチを押します。
- 押すごとに、相手局(全体/個別)番号が切り替わります。

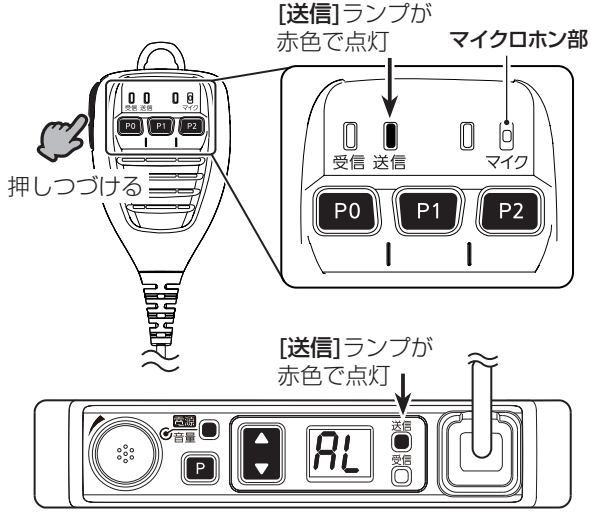
5 呼び出しをする

[PTT(送信)]スイッチを押しながら、マイクロホン部に向かって、

『こちらは×号車○○です。　営業所どうぞ。』

などと呼びかけたあと、**[PTT(送信)]**スイッチをはなします。

- **[PTT(送信)]**スイッチを押しているあいだは、**[送信]**ランプが点灯(赤色)します。



送信中の表示例:AL

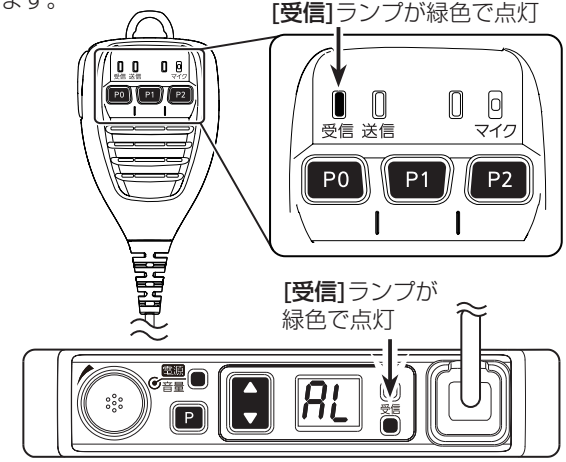
6 呼び出しを受ける

受信したあと、**[PTT(送信)]**スイッチを押しながら、マイクロホン部に向かって、

『こちらは×号車○○です。　了解しました、どうぞ。』

などと応答したあと、**[PTT(送信)]**スイッチをはなします。

- 電波を受信しているあいだは、**[受信]**ランプが点灯(緑色)します。



※ 個別呼び出し機能を使用している場合、**[受信]**ランプが点灯(緑色)しても、相手の音声が聞こえないときは、他局への呼び出しを意味します。
モニター機能が設定されている場合は、モニター設定したスイッチを押すと、他局の音声が聞こえます。

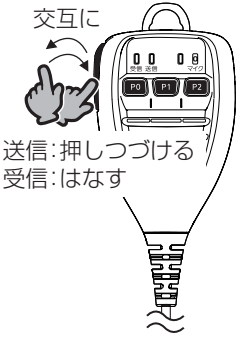
7 交信する

相手局から呼び出しを受けた状態(☞P6)から、送信と受信を交互に繰り返すと、交信できます。

※ 双方同時に送信しても、交信できません。

※ 送信の終わりに『どうぞ』と言葉を添えると、スムーズに交信できます。

※ 再度相手局を呼び出すときは、呼び出しをする前の表示に戻ってから**[PTT(送信)]**スイッチを押します。



■ 交信時のアドバイス

1.マイクロホンの使いかた

マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で交信してください。

マイクロホンに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

2.個別呼び出しについて

個別呼び出し機能で相手局を呼び出すには、チャンネル(CH)番号(☞P4)と個別番号(☞P5)を相手局と同じ設定にしてください。

※ 個別番号とは、相手の無線機に設定されている自局番号のことで、無線機ごとに異なる自局番号を設定することで、呼び出す相手を指定する番号です。

※自局番号の変更については、お買い上げの販売店におたずねください。

3.相手局から応答がないときは

個別呼び出しで、相手が無線機からはなれている場合や電波を受信できない場所に移動したなどの理由で応答がないときは、相手局番号表示の点滅が停止してから、**[PTT(送信)]**スイッチを押しなおすと、何回でも同じ相手(個別)局を呼び出しできます。

4.交信する場所について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなることがあります。

そのようなときは、場所を少し移動して交信してください。

■ 録音機能について

録音機能とは、自局宛の呼び出しを受けるごとにその音声を自動で録音する機能です。
営業所などからの無線連絡を再度確認したい場合に、録音した受信内容を再生できるので便利です。
お買い上げの販売店にて設定された時間だけ、録音できます。設定した録音時間を経過すると、一番古い録音内容から順に削除されます。

[使用手順]

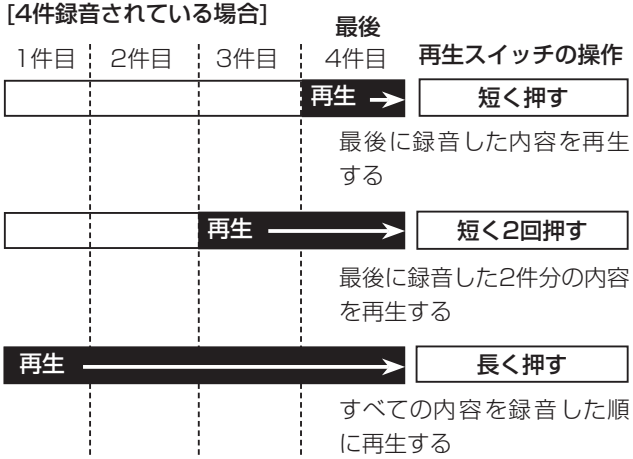
①呼び出しを受けると、自動的に録音を開始します。
- **[録音]**ランプが橙色で点灯します。

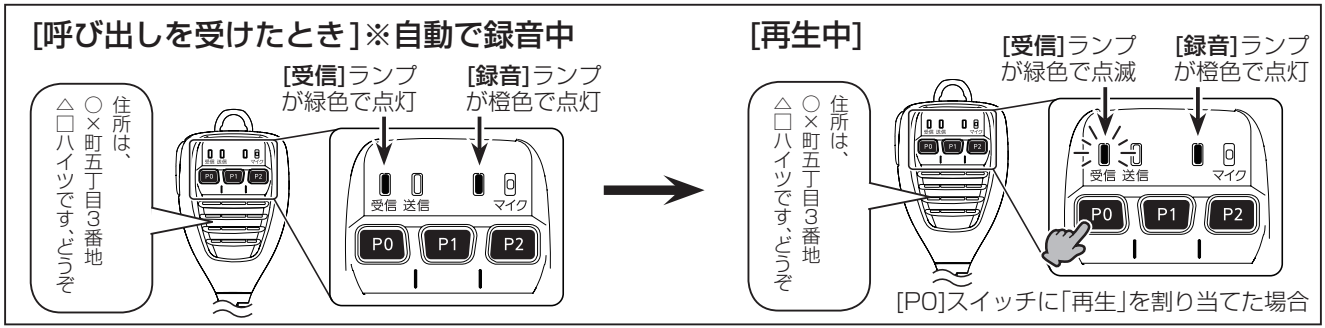
②再生を設定したプログラムスイッチを押すと、録音内容を再生します。
- **[録音]**ランプは橙色で点灯しつづけ、**[受信]**ランプは緑色で点滅します。

※再生中に再生スイッチを押すと、停止します。

【ご注意】
電源を切ると、録音した内容はすべて消去されます。

[4件録音されている場合]



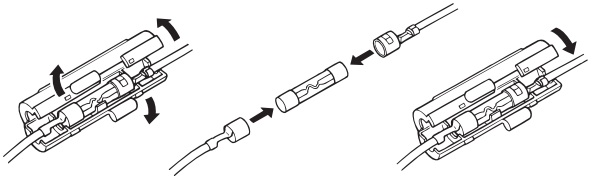


4 保守について

■ ヒューズの交換について

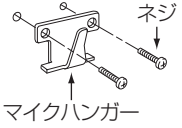
付属のDC電源ケーブルには、2本のヒューズ(125V/5A)が使用されています。

※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。



■ マイクハンガーの取り付けかた

マイクロホンに付属のマイクハンガーは、右図を参考に取り付けてください。



■ 日常のお手入れと点検について

◎**清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

◎定期的に決まった位置の相手局と交信して、交信状態に変化がないか調べてください。

◎音量が最小に調整されていないか、表示部の音量レベル表示(☞P3)で確認してください。
プログラムスイッチにモニター機能を設定している場合は、そのスイッチを押しながら**[電源/音量]**ツマミを回して、確認してください。

■ 故障かな？と思ったら

下記のような現象は、故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(☞P11)までお問い合わせください。

〈現象〉電源が入らない

〈原因1〉 DC電源ケーブルの接続不良
処置: バッテリー、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)との接続を確認する

〈原因2〉 ヒューズの断線、またはバッテリーの極性とDC電源ケーブル(付属品)が逆に接続されている
処置: バッテリーとの接続、またはヒューズの断線を確認する

〈現象〉音が出ない

〈原因1〉 外部スピーカー、またはマイクロホンが接続されていない
処置: 付属のマイクロホン(☞P2)、またはSP-30(別売品)を接続する(☞P12)

〈原因2〉 音量が最小に調整されている
処置: [電源/音量]ツマミを回して、音量レベルを確認する(☞P3)

〈現象〉交信できない(応答がない)

〈原因1〉 相手局と距離がはなれすぎている
処置: 場所を移動してから交信してみる

〈原因2〉 相手局が不在、または電源を切っている
処置: 少し時間を空けてから再度呼び出してみる

〈原因3〉 相手局とチャンネル(CH)番号が合っていない
処置: 相手局とチャンネル番号を同じにする、さらに個別呼び出し機能でご使用の場合は、相手局番号を選択する

4 保守について

■ アフターサービスについて

「■ 故障かな？と思ったら」(☞P10)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先：アイコム株式会社　サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)
電子メール：support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

●弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ http://www.icom.co.jp/ をご覧ください。

◎PS-230A
卓上電源装置

◎SP-30
外部スピーカー

定格出力　　:20W
インピーダンス:4Ω

◎OPC-2200*
PC接続ケーブル

◎OPC-2201*
外部接続ケーブル

◎UX-230*
GPSユニット

*AVMシステムを使用するときに必要です。
ケーブルの接続方法は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【別売品についてのご注意】
弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。
弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

MEMO

高品質がテーマです。

A-6990H-1J-②
Printed in Japan
© 2012 Icom Inc.

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32